

Episysと見える化君

使用方法をわかりやすく解説します

職業感染制御研究会

ホームページ: <http://jrgoicp.umin.ac.jp/>

このスライドの内容

- エピネット日本版、EpisysA&B301そして見える化君とは
- エピネット日本版、EpisysA&B301 の入手方法
- EpisysA&B301と見える化君を簡単解説
 - ✓ EpisysA&B301の使い始め
 - ✓ EpisysA&B301の基本操作
 - ✓ 見える化君の基本操作

エピネット日本版

- 医療施設等で発生する血液・体液曝露事例の報告書式です。1991年米国バージニア大学 International Healthcare Worker Safety Center の Janine Jagger 教授によって開発された EPINet™
(Exposure Prevention Information Network System)
を職業感染制御研究会が「エピネット日本版」として開発し無料で提供しています。

Episys とは

- 「エピネット日本版」報告書式の記載事項を電子データベース化し集計や分析もできるソフトです。針刺し切創や血液体液曝露情報をソフトに直接入力することができます。Microsoft Access[®]で作成されています。なお EpisysAは針刺し切創用、EpisysBは皮膚・粘膜曝露用です。最新版は2013年9月からEpisysA&B301として公開されています。

見える化君とは

- 見える化君はEpisysに保存されている「エピネット日本版」データ用の分析ツールです。Episys 自身も集計機能を備えていますが見える化君を使うことで、より自由にデータの集計ができ、詳細な分析、全国比較などが可能となります。

このスライドの内容

- エピネット日本版、EpisysA&B301そして見える化君とは
- **エピネット日本版、EpisysA&B301 の入手方法**
- EpisysA&B301と見える化君を簡単解説
 - ✓ EpisysA&B301の使い始め
 - ✓ EpisysA&B301の基本操作
 - ✓ 見える化君の基本操作

エピネット日本版、EpisysA&B301 の入手方法

職業感染制御研究会のホームページ

<http://jrgoicp.umin.ac.jp/>

The image shows a screenshot of a web browser displaying the homepage of the Japanese Occupational Infection Control and Prevention Research Group (JRGOICP). The browser's address bar shows the URL <http://jrgoicp.umin.ac.jp/>. The website header includes the title "職業感染制御研究会" and the English translation "The Research Group of Occupational Infection Control and Prevention in Japan (JRGOICP)". A search bar and a site map button are also visible. A blue callout bubble with the text "このタブをクリック" (Click this tab) points to the "エピネット日本版" (Episys Japan Version) menu item in the navigation bar, which is highlighted with a red box. Below the navigation bar, there are several content blocks: a yellow banner for "8月30日を「針刺し予防の日」に制定" (Designating August 30th as "Needlestick Prevention Day"), a blue banner for "特設コーナー 安全器材と個人用防護具" (Special Corner: Safety Equipment and Personal Protective Equipment), and an orange banner for "お知らせ・トピックス" (Notice/Topics) with a link to a contest. On the right side, there is a video player titled "Injection Safety Video - Japanese Version" showing two healthcare workers in a clinical setting.

エピネット日本版の入手方法

ホームページ

研究会について

活動

エピネット日本版

全国調査(JES)

感染症の基礎知識

針刺し予防策

関連情報

FAQ

エピネット日本版について

▼Episys A & B

▼見える化君

▼ダウンロード

▼ユーザーメニュー

▼バグ情報

エピネット日本版について

エピネット日本版は、職業感染制御研究会から発行されている血液・体液曝露報告書式です。1991年米国バージニア大学 [International Healthcare Worker Safety Center](#) のJanine Jagger教授によって開発された EPINet™(エピネット) : Exposure Prevention Information Network を基に作成されています。EPINet™ は血液・体液曝露の予防に活用できる優れた報告書式として、現在1500以上の米国医療施設に導入され、さらにカナダ、イタリア、スペイン、日本、イギリス、台湾、韓国など世界各国で活用されています。

1997年にバージニア大学の承諾を得て、職業感染制御研究会の下で自由に活用できるようになりました。以後、企業会員の協力により、[エピネット日本版](#) (エピネット日本版-記入の手引きを含む) (A: 針刺し・切創報告書とB:皮膚・粘膜汚染報告書) 及びその集計・解析ソフトである「Episys (エピシス)」を作成し、順次公開しました。

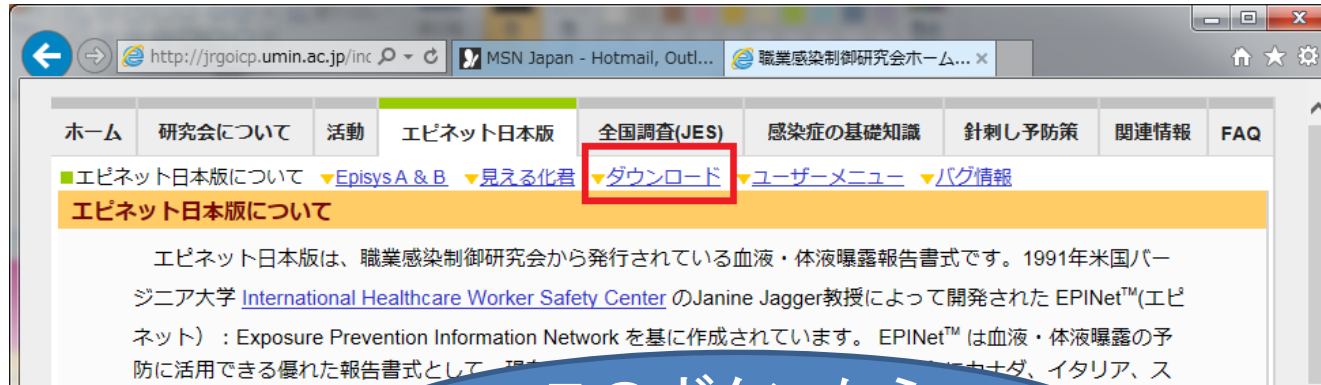
エピネット日本版は、1996年から厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業として実施された「エイズ拠点病院における針刺し・切創損傷調査」および、2002年に厚生労働科学研究費補助金特別研究事業として報告された「医療従事者における針刺し・切創の実態とその対策に関する調査」でも活用されました。エピネット日本版は、現在でも様々な施設、機関での血液・体液曝露サーベイランス実施時に活用されています。

さらに、最近では2013年9月に、利用者からの要望が強かった手術部用の、[エピネット日本版Ver4](#) (針刺し・切創報告書、皮膚・粘膜汚染報告書) を作成しました。これによって手術部における針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露の報告が容易となりました。

- [エピネット日本版Ver4 \(針刺し・切創報告書、皮膚・粘膜汚染報告書\)](#)
- [エピネット日本版Ver4\(同上報告書に記入の手引きを含む\)](#)
- [エピネット日本版/手術部版Ver1.0 \(針刺し・切創報告書\)](#) up New
- [エピネット日本版/手術部版Ver1.0 \(皮膚・粘膜曝露報告書\)](#) up New

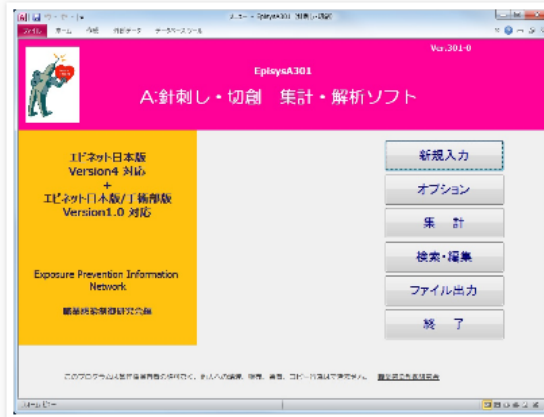
「エピネット日本版」pdf
はここからダウンロード

EpisysA&B301 の入手方法



このボタンから
利用登録ページへ

申込みはこちら



EpisysA&B301 の入手方法 解凍

- ダウンロードファイルを解凍するとフォルダ「Episys301と見える化君」ができます。



- フォルダ内に EpisysA&B301 や 見える化君、使用説明書等があります。

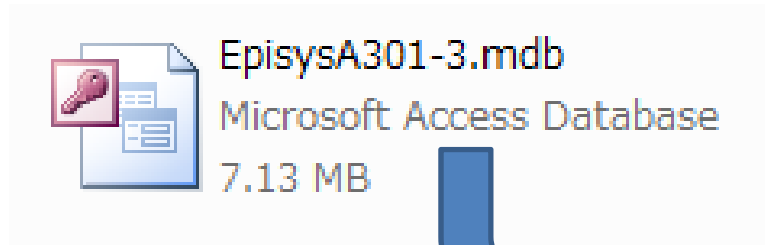
注意点

- Episysや見える化君を使うには Microsoft の Access (2007以降のバージョン) がインストールされているパソコンが必要です。
- Episysは利用登録後にダウンロードしてください。見える化君も同時にダウンロードできます。
- 利用登録は利用者個人としてお願いします。
(施設単位ではありません)

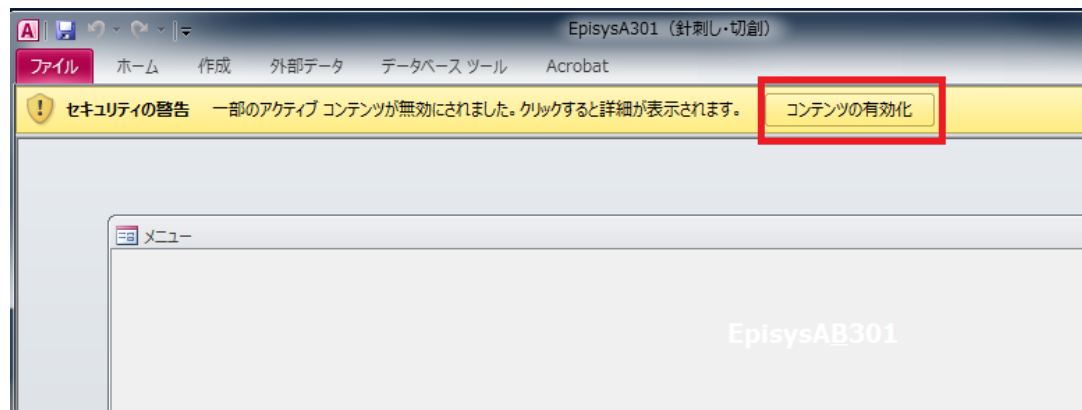
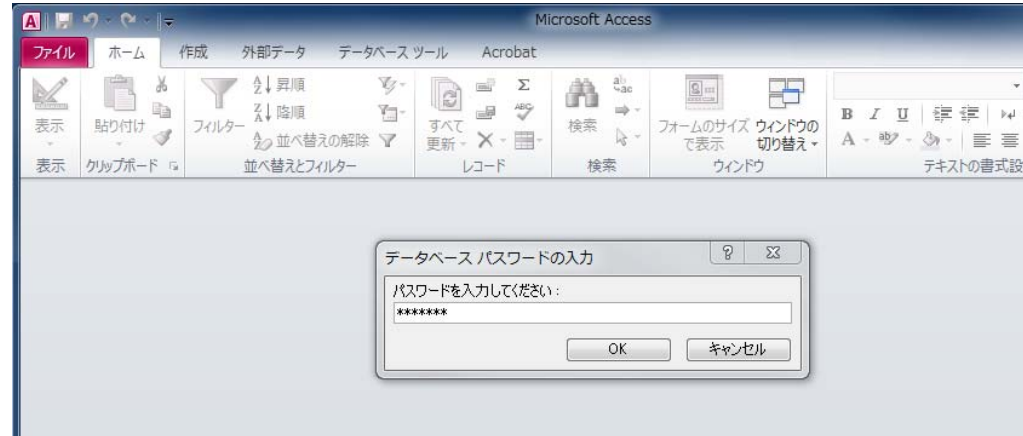
このスライドの内容

- エピネット日本版、EpisysA&B301そして見える化君とは
- エピネット日本版、EpisysA&B301 の入手方法
- EpisysA&B301と見える化君を簡単解説
 - ✓ EpisysA&B301の使い始め
 - ✓ EpisysA&B301の基本操作
 - ✓ 見える化君の基本操作

EpisysA&B301の使い始め ①パスワード入力(毎回)

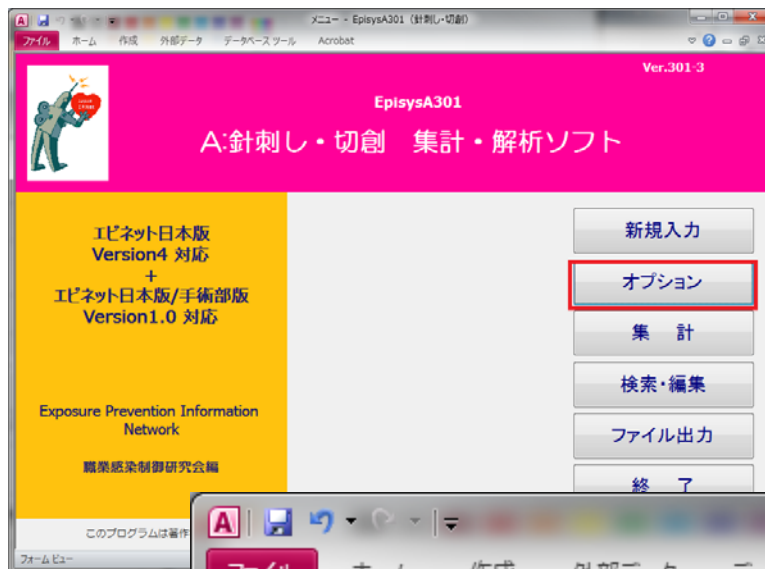


パスワードの入力
(利用登録時に通知のもの)

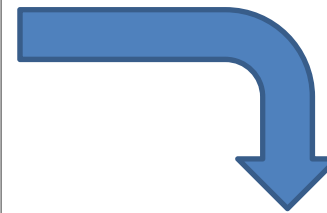


コンテンツの有効化
(最初だけ)

EpisysA&B301の使い始め ②病院コード



病院コード番号を入力
(最初だけ)

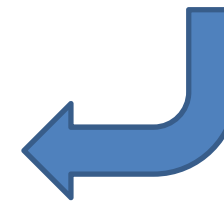
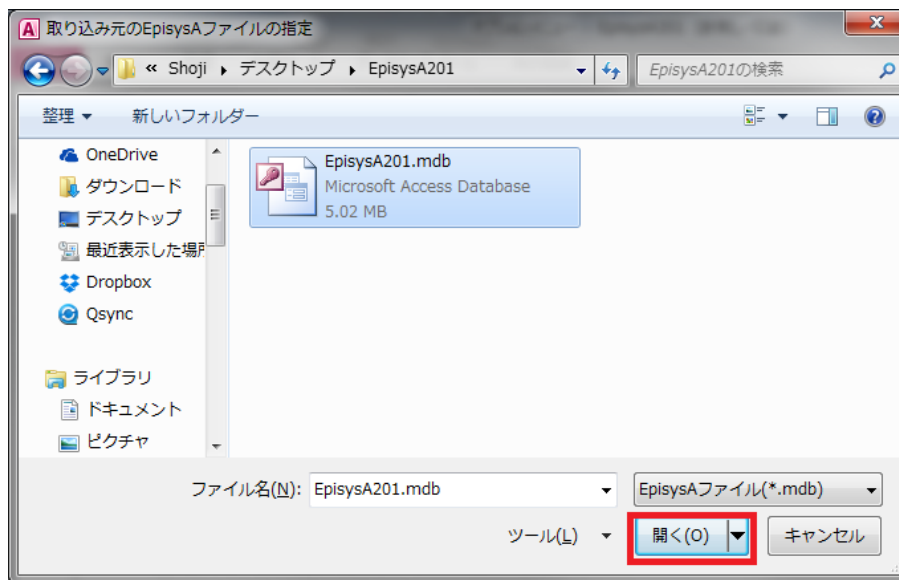
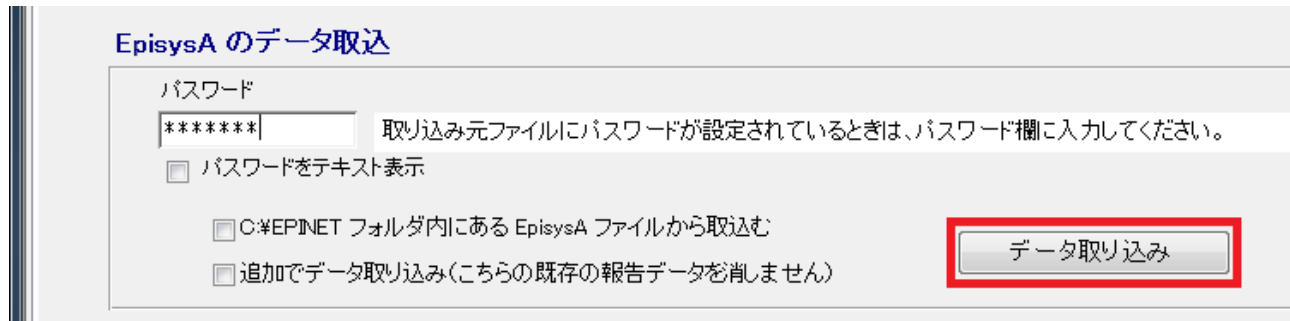


オプション



EpisysA&B301の使い始め ③データ取り込み

データの取り込みは入力済みのファイルがある場合のみ



入力済みのファイルを指定して「開く」でデータの取り込みが始まる

このスライドの内容

- エピネット日本版、EpisysA&B301 と見える化君の入手方法
- EpisysA&B301と見える化君を簡単解説
 - ✓ EpisysA&B301の使い始め
 - ✓ **EpisysA&B301の基本操作**
 - ✓ 見える化君の基本操作

EpisysA&B301の基本操作 ①新規入力

The image shows two screenshots of the EpisysA301 software interface. The first screenshot shows the main menu with the '新規入力' (New Input) button highlighted in red. The second screenshot shows the selection screen for 'New Input', with two options: '一般' (General) and '手術部' (Surgical Department). The '手術部' option is highlighted in green.

エピソード日本版
Version4 対応
+
エピソード日本版/手術部版
Version1.0 対応

Exposure Prevention Information
Network
職業感染制御研究会

このプログラムは著作権所有者の許可なく、他人への譲渡、販売、書籍、コピー行為はできません。 職業感染制御研究会

フォームビュー NumLock

新規入力するエピソード日本版の選択

一般

エピソード日本版
Japan EPINet Version 4
A: 針刺し・切創報告書

手術部

エピソード日本版/手術部版
Japan EPINet/OR Version 1.0
AO: 針刺し・切創報告書/手術部用

フォームビュー NumLock

報告領域を選択する

EpisysA&B301の基本操作 ②新規入力画面

The screenshot shows a web application window titled "A: 針刺し・切創報告(一般) 新規入力 - EpisysA301 (針刺し・切創)". The form is titled "EpisysA301 A: 針刺し・切創報告(一般) 新規入力" and includes a hospital code "12345".

1. 報告者
氏名: [] 職員番号: [] 所属部門: 0 [記載なし] 性別: 0 [不明]
ふりがな: [] カルテ番号: [] 経験年数: [] 年齢: []
院内報告番号: 3625
登録年月日: 2015/07/08

2. 発生日時
発生日: [] 入力例: 2015/07/08
発生時間: [] 頃 入力例: 16:00

3. 職種
職種: 0 [記載なし]

4. 発生場所
発生場所: 0 [記載なし]

5. 患者の確定
患者の確定: 0 [記載なし]

Buttons: [▶*], [未入力チェック], [←] (highlighted in red), [▶]

各項目を入力したら  ボタンで登録

EpisysA&B301の基本操作 ③入力済データの検索・編集

The image shows two windows from the EpisysA301 software. The left window is the main menu, and the right window is the search results screen. A blue arrow indicates the transition from the main menu to the search screen.

Main Menu (EpisysA301 Ver.301-3):

- Buttons: 新規入力, オプション, 集計, **検索・編集** (highlighted), ファイル出力, 終了
- Text: A: 針刺し・切創 集計・解析ソフト
- Additional info: エピネット日本版 Version4 対応 + エピネット日本版/手術部版 Version1.0 対応, Exposure Prevention Information Network, 職業感染制御研究会編

Search Results Window (データ検索(一般)):

Report Area: 一般 (selected), 手術部, 総合

Search Criteria: 院内報告番号, 職員番号, 氏名, プリガナ, カルテ番号, 職種, 発生場所

Search Results: 該当数 739

院内報告番号	職員番号	氏名	プリガナ	カルテ番号	職種	発生場所	発生日	編集
2442	???	???	???	???	看護師	救急部門	2011/03/16	編集
3623	???	???	???	???	レジデント・研修	集中治療部(術後)	2011/03/10	編集
3622	???	???	???	???	レジデント・研修	外来診察室(処置)	2011/03/08	編集
2163	???	???	???	???	医師(常勤・非常)	病室(集中治療室)	2011/03/08	編集
2152	???	???	???	???	看護師	中央採血処置室	2011/03/08	編集
2433	???	???	???	???	レジデント・研修	救急部門	2011/03/07	編集
1941	???	???	???	???	看護師	病室(集中治療室)	2011/03/02	編集
3621	???	???	???	???	レジデント・研修	その他	2011/03/01	編集
2432	???	???	???	???	看護師	病室(集中治療室)	2011/02/24	編集
1932	???	???	???	???	医師(常勤・非常)	外来診察室(処置)	2011/02/23	編集
1923	???	???	???	???	看護師	病室(集中治療室)	2011/02/04	編集
3603	???	???	???	???	レジデント・研修	病理解剖	2011/02/01	編集
3602	???	???	???	???	レジデント・研修	病室(集中治療室)	2011/01/27	編集
2422	???	???	???	???	医学生	その他	2011/01/10	編集

EpisysA&B301の基本操作 ④入力済データの検索



報告領域の選択

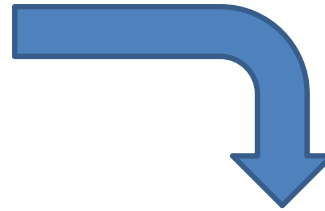
項目別検索

対象を見つけて **編集** ボタンをクリック

EpisysA&B301の基本操作 ⑤入力済データの編集

EpisysA301 データ検索(一般)

院内報告番号	職員番号	氏名	フリガナ	カルテ番号	職種	発生場所	発生年月日	編集
2442	???	???	???	???	看護師	救急部門	2011/02/16	編集
3623	???	???	???	???	レジデント・研修	集中治療部(病棟)	2011/02/10	編集
3622	???	???	???	???	レジデント・研修	外来診察室(処置)	2011/03/08	編集
2163	???	???	???	???	医師(常勤・非常)	病室(集中治療室)	2011/03/08	編集
2152	???	???	???	???	看護師	中央採血処置室	2011/03/08	編集
2433	???	???	???	???	レジデント・研修	救急部門	2011/03/07	編集
1941	???	???	???	???	看護師	病室(集中治療室)	2011/03/02	編集
3621	???	???	???	???	レジデント・研修	その他	2011/02/01	編集
2432	???	???	???	???	看護師	病室(集中治療室)	2011/02/24	編集
1932	???	???	???	???	医師(常勤・非常)	外来診察室(処置)	2011/02/23	編集
1923	???	???	???	???	看護師	病室(集中治療室)	2011/02/04	編集
3603	???	???	???	???	レジデント・研修	病理解剖	2011/02/01	編集
3602	???	???	???	???	レジデント・研修	病室(集中治療室)	2011/01/27	編集
2422	???	???	???	???	医学生	その他	2011/01/10	編集



編集画面

EpisysA301 A: 針刺し・切創報告(一般)編集

1. 報告者
氏名: ??? 職員番号: ??? 所属部門: 2 病棟部門 性別: 2 女
ふりがな: ??? カルテ番号: ??? 経験年数: 4 年齢: 26

2. 発生日時
発生日: 2011/02/24 入力例: 2015/07/08
発生時間: 12:00 頃 入力例: 16:30

3. 職種
職種: 4 看護師

4. 発生場所
発生場所: 1 病室(集中治療室を除く)
詳細: 16

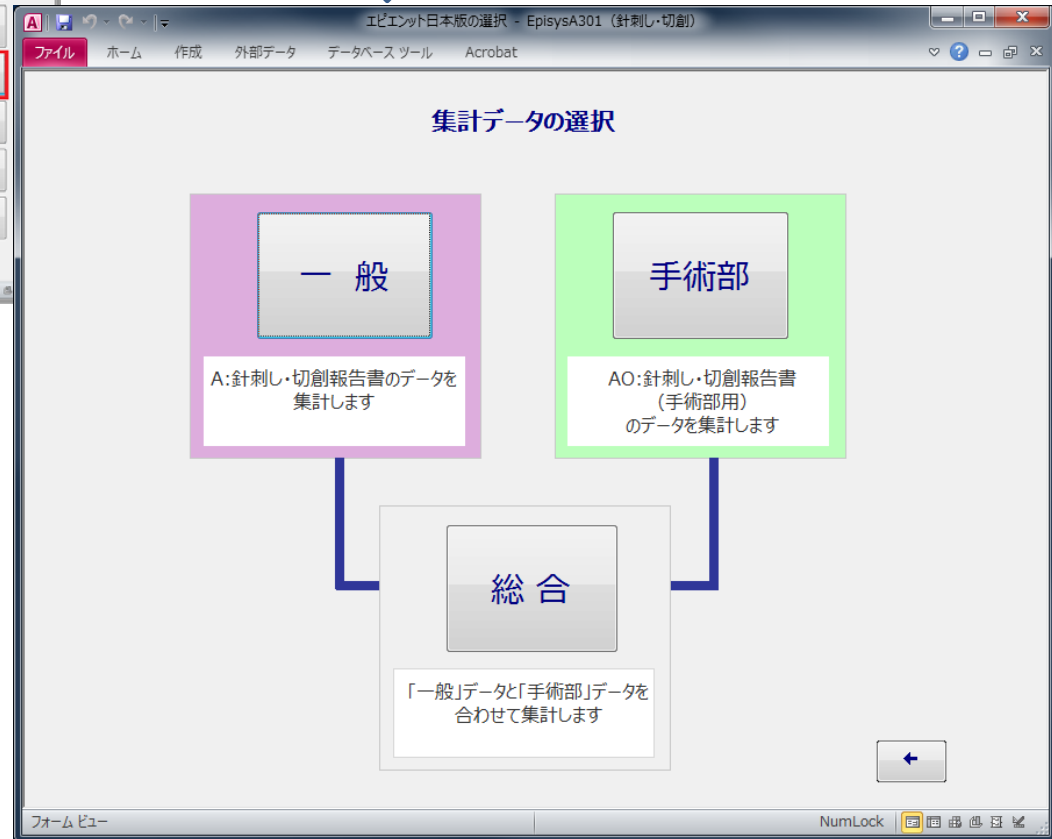
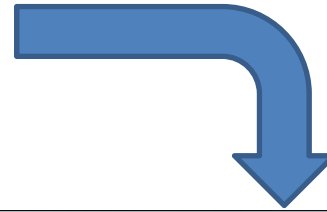
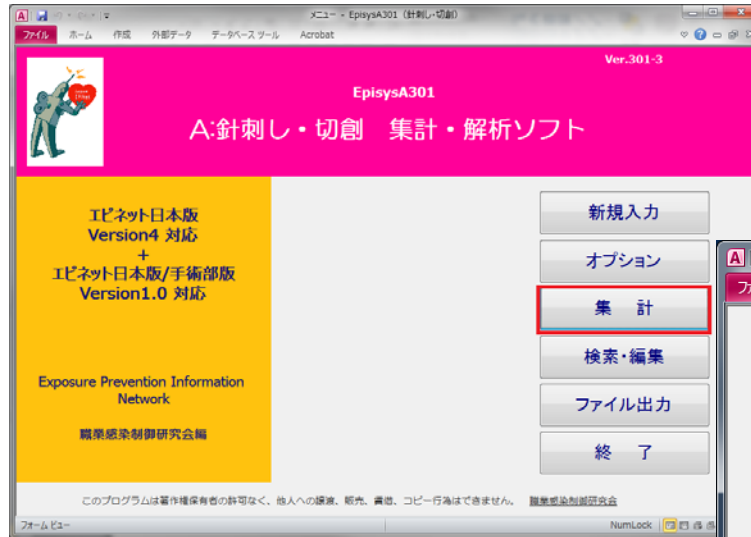
5. 患者の確定
患者の確定: 1 はい

患者カルテ番号: ???
患者氏名: ???
1 入院
HIV: 2 陰性
HCV: 2 陰性
HBs抗原: 2 陰性
HBe抗原: 0 記載なし
梅毒: 0 記載なし
ATLA(HTLV-1): 0 記載なし
その他:

院内報告番号: 2432
登録年月日:
更新年月日:

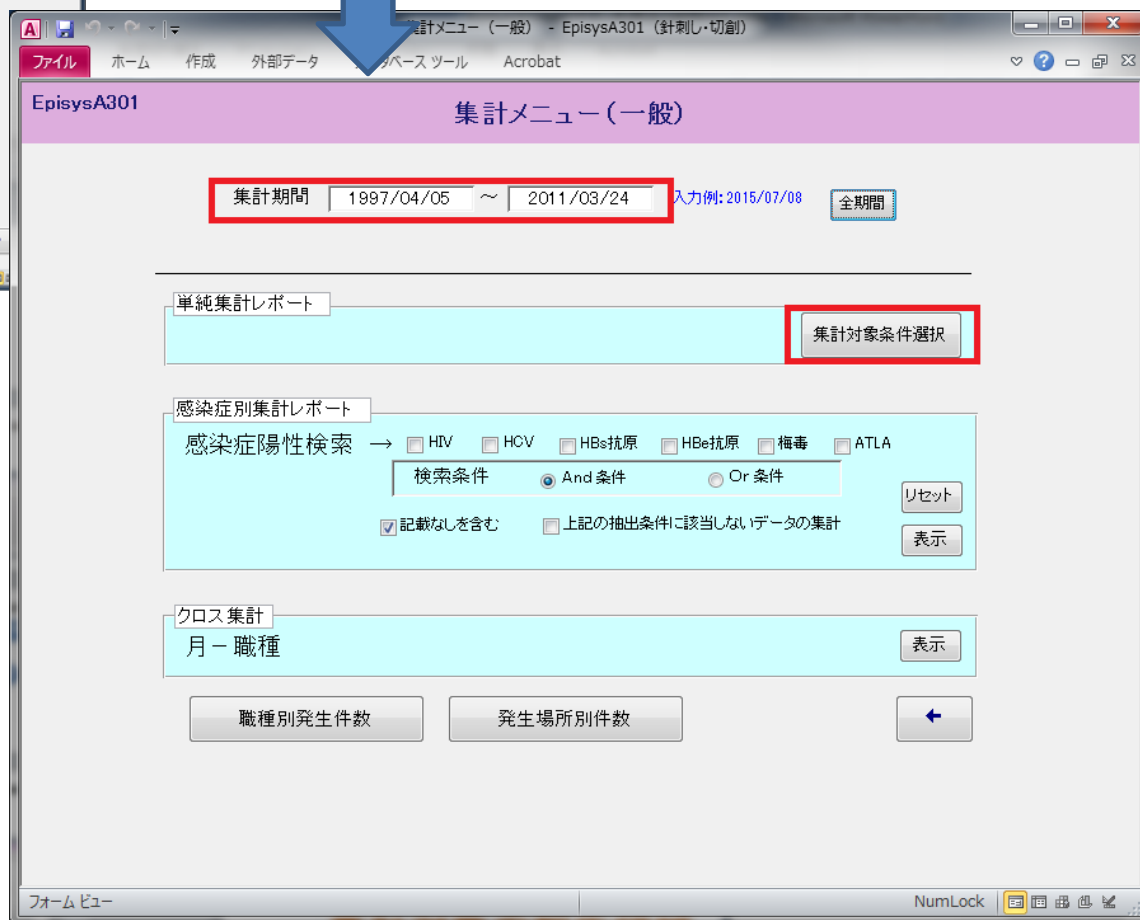
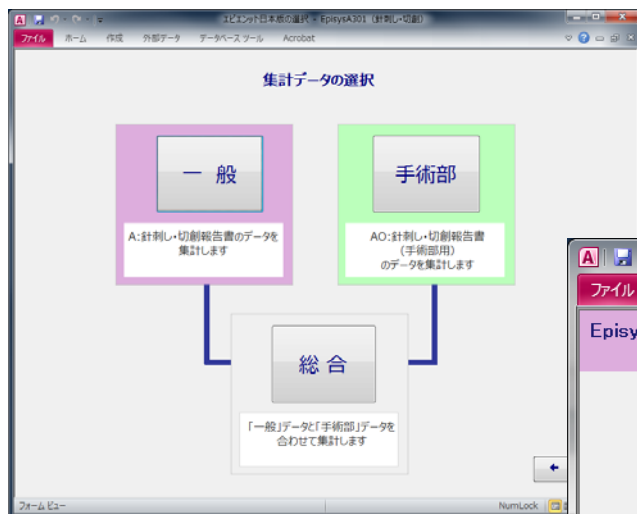
未入力チェック

EpisysA&B301の基本操作 ⑥集計



集計対象の報告領域
を選択する

EpisysA&B301の基本操作 ⑦集計



集計期間を入力し
集計対象条件選択 ボタン
をクリック

EpisysA&B301の基本操作 ⑧集計項目の指定

各項目の選択肢を指定して「集計結果表示」ボタンをクリック (指定なしも可)

EpisysA&B301の基本操作 ⑨集計の出力例

EpisysA301

抽出しコード数: 739

所属部門: すべて
 職種: すべて
 発生時期: すべて
 発生場所: すべて
 患者の確定: すべて
 器材の選択/使用者: すべて
 器材の汚染: すべて

使用目的: すべて
 発生状況: すべて
 器材項目: すべて
 器材名: すべて
 汚染部位: すべて
 安全器材: すべて
 手袋着用: すべて
 HB感染: すべて
 緊急処置時発生: すべて

注:それぞれの項目の選択におい

2. 部門

0	記載なし
1	医師部門
2	看護部門
3	外来部門
4	中村・手術部門
5	検査部門
6	放射線部門
99	その他
合計	

3. 職種

0	記載なし
1	医師(常勤/非常勤)
2	レジデント/研修医
3	医学生
4	看護師
5	准看護師
6	管理助手
7	管理学生
8	臨床検査技師
9	放射線技師

エビ

10 歯科医師
 11 歯科衛生士
 12 薬剤士(調剤/洗剤/薬)
 13 薬剤師
 14 助産師
 16 臨床工学技士
 99 その他

合計

医師診療科

0	記載なし
1	内科
2	外科
3	産科
4	整形外科
6	形成外科
7	小児科
8	産婦人科
9	眼科
10	皮膚科
11	泌尿器科
12	耳鼻咽喉科
13	精神・神経科
14	放射線科
15	歯科・口腔科
16	脳神経外科
17	腎臓内科
18	中央臨床検査
19	救急科
99	その他
合計	

レジデント/研修医

0	記載なし
1	内科
2	外科
3	産科
4	整形外科
7	小児科
8	産婦人科
10	皮膚科
13	精神・神経科
14	放射線科
15	歯科・口腔科
19	救急科

エビ

99 その他

合計

4. 発生場所

0	記載なし
1	病室・集中治療室
2	病室(廊下/廊下/ナース)
3	救急室
4	集中治療室(併設)
6	外来診察室(洗剤室)
7	手術室
8	中央臨床検査室
9	透析室
10	特殊検査室
11	中央検査部
12	病棟病室
13	中央材料室
14	分室
16	在宅
99	その他
合計	

事例発生場所

0	記載なし
1	A病
2	A室
3	B病
4	B室
5	C
99	その他
合計	

事例発生場所

0	記載なし
1	内科
2	外科
3	産科
4	整形外科
6	形成外科
7	小児科
8	産婦人科
9	眼科
10	皮膚科
11	泌尿器科
12	耳鼻咽喉科
14	放射線科
15	歯科・口腔科

エビ

99 その他

合計

5. 患者の確定

0	記載なし
1	はい
2	いいえ
3	適切な回答なし(患者へ)

合計

患者区分

1	入院
2	救急外来
3	外来(救急除心)
4	不明

合計

確定患者の構成

0	記載なし
1	HB感染
2	HCV感染
3	HB抗原
4	HB抗体
5	梅毒感染
6	ATLA感染

合計

6. 器材の選択-使用者

0	記載なし
1	はい
2	いいえ
3	適切な回答なし

合計

6-A. 患者所持の器材

0	記載なし
1	はい
2	いいえ

合計

7. 器材の汚染

0	記載なし
1	見える程度の血液などが
2	汚染時には見える程度の
3	血液などで汚染されている
4	汚染されていたかどうか

エビ

合計

8. 使用目的

0	記載なし
1	不明
2	注射器を用いた注射
3	ペリカシス等での注
4	静脈ラインのインジェ
5	静脈ラインの接続/離
6	末梢血管確保(観察)
7	静脈挿入
8	観察挿入
9	尿管・導尿挿入/抜
10	気管挿入/気管切
11	縫合
12	外科的切開
13	電気焼灼(電気メス)
14	刺入
15	観察(中心静脈ライン)
99	その他
合計	

9. 事例発生状況

0	記載なし
1	器材を患者に使用する
2	器材を患者に使用中
3	器材を患者に使用中
4	器材の分解
5	再生可能な器材の再
6	消毒済み器材の再
7	ゴム管・ゴム管(インジ
8	その他の、使用後から
9	消毒ボックスの上で
10	消毒ボックスに器材を
11	消毒後に消毒ボックス
12	消毒ボックスの投入口
13	消毒後30分以内
14	患者の観察/処置
15	使用済み器材が手
99	その他
合計	

エビ

合計

10. 器材

0	記載なし	19	2.6%
1	使い捨て注射器の針(普通)	253	31.2%
2	使用済み器具の消毒(ベ	75	10.1%
3	血液の検査用の注射器	13	1.6%
4	その他、あるいは器具	1	0.1%
5	点滴ラインの接続/離	6	0.8%
6	観察針及び点滴セット	132	17.9%
7	観察留置針(静脈カテー	48	6.5%
8	末梢血管確保の針	12	1.6%
9	カテーテル又は観察針	2	0.3%
10	同じにも接続されない	11	1.5%
11	観察カテーテル留置針	4	0.5%
12	中心静脈カテーテル留	6	0.8%
13	観察カテーテル留置針	1	0.1%
14	分室(中心静脈ライン)	8	1.1%
15	その他の針	24	4.6%
20	カテーテル(気管・尿管)	18	2.4%
31	縫合針	38	5.1%
32	再生使用する外科用メ	5	0.8%
33	刺入、刀	15	2.0%
40	ペリカシス用の刀	1	0.1%
44	指の爪、歯	8	1.1%
45	ティンダー・サドル	2	0.3%
46	ワイヤ	1	0.1%
47	ピン	3	0.4%
51	線子、留置器	2	0.3%
58	観察の付かない観察	19	2.6%
59	その他	9	1.1%
60	観察カテーテル	1	0.1%
68	観察の付かないガラス	1	0.1%
79	その他のガラス器具	3	0.4%
合計			

739

11. 安全器材

0	記載なし	107	14.5%
1	はい	145	19.6%
2	いいえ	487	65.9%
合計			

739

安全装置作動有無

0	記載なし	24	3.6%
1	完全に作動	16	2.4%
2	一部(部分的)作動	33	4.8%
3	いいえ	65	9.1%
合計			

エビ

エビネット日本語Ver4 A:射撃し/切替 集計/印刷ソフト 6/9ページ

このスライドの内容

- エピネット日本版、EpisysA&B301そして見える化君とは
- エピネット日本版、EpisysA&B301 の入手方法
- EpisysA&B301と見える化君を簡単解説
 - ✓ EpisysA&B301の使い始め
 - ✓ EpisysA&B301の基本操作
 - ✓ 見える化君の基本操作

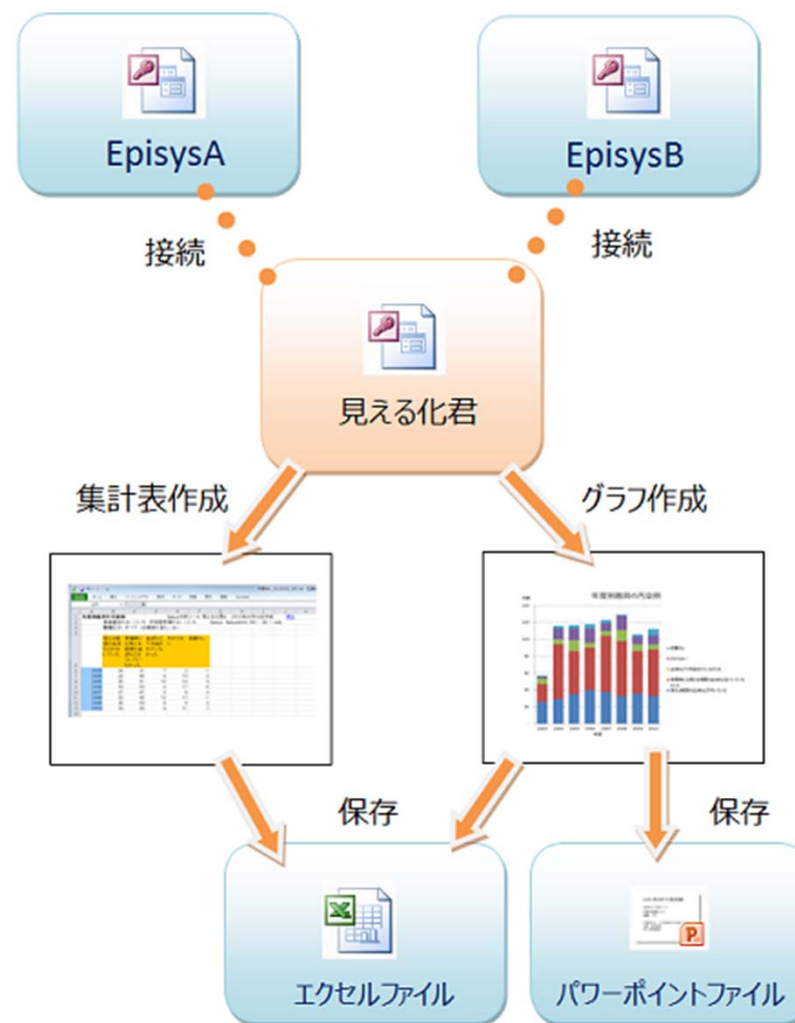
見える化君の基本操作

見える化君

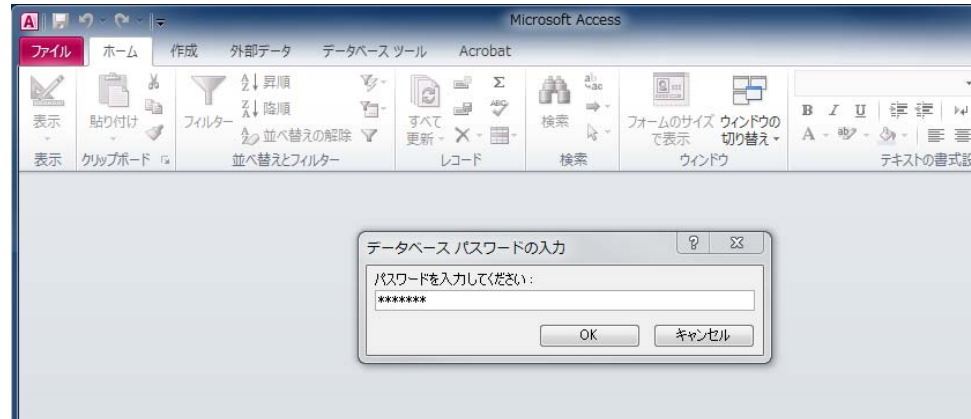
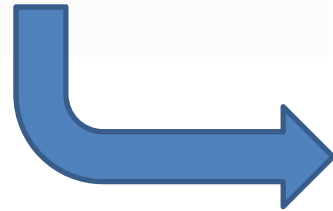
Episys分析ツール

この分析ツールはEpisys109、201、301に保存されている報告データ(エピネット日本版報告書Ve.r4)の分析を支援するためのものです。

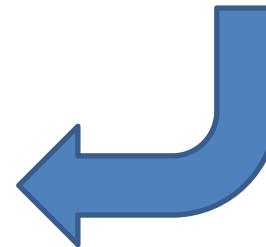
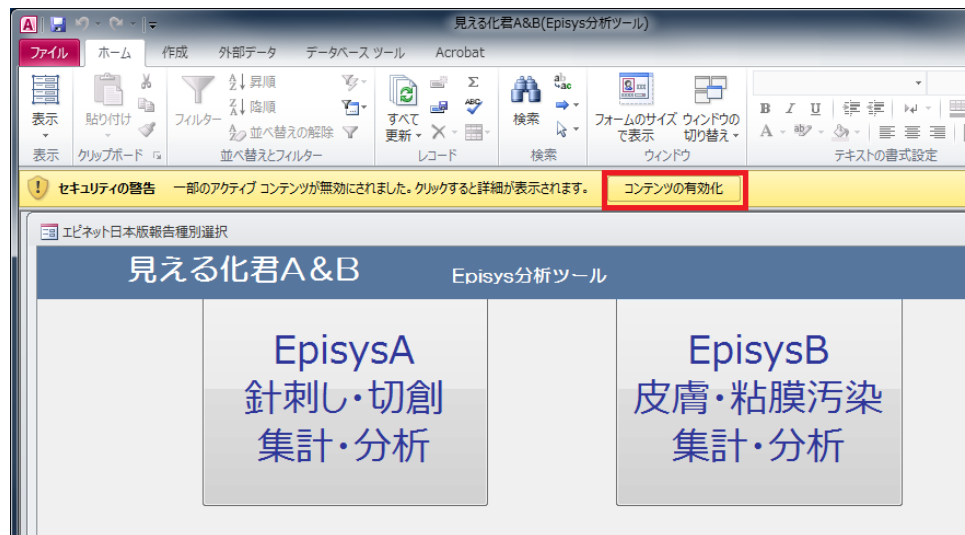
右図のように、Episysファイルの報告データに接続し、集計表を作成し、さらにそれをグラフ化しエクセルファイル等に保存することができます。



見える化君の基本操作 ①使用開始

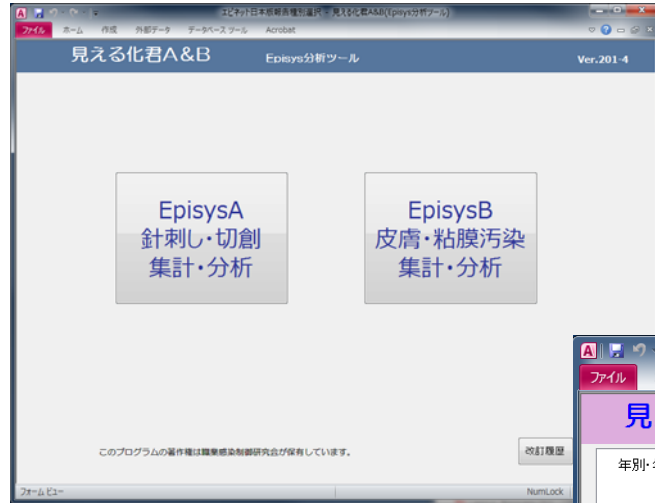


パスワードの入力
(利用登録時に通知のもの)



コンテンツの有効化
(最初だけ)

見える化君の基本操作 ①対象データ選択

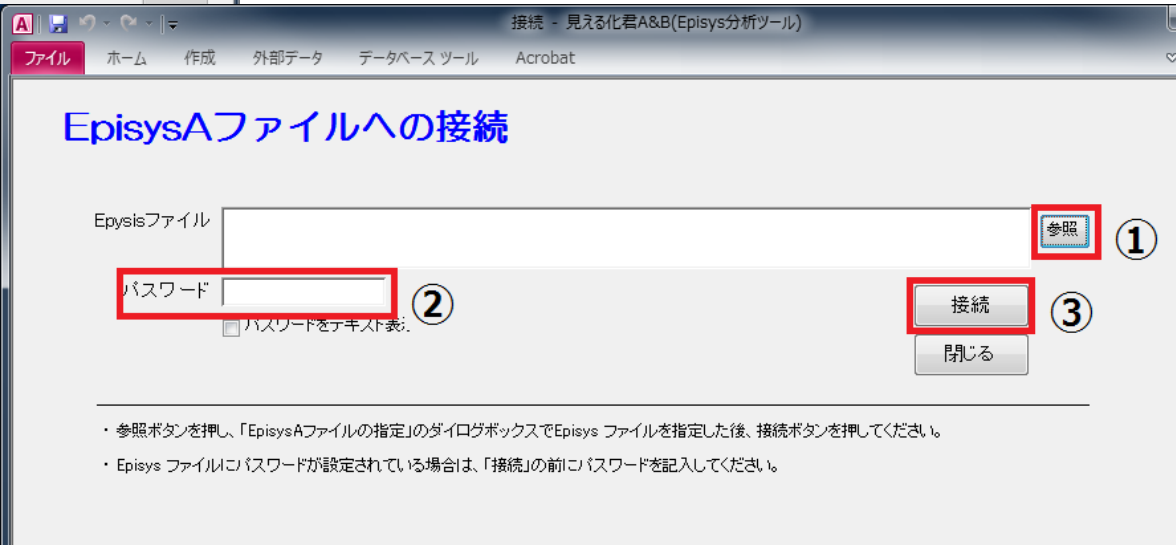
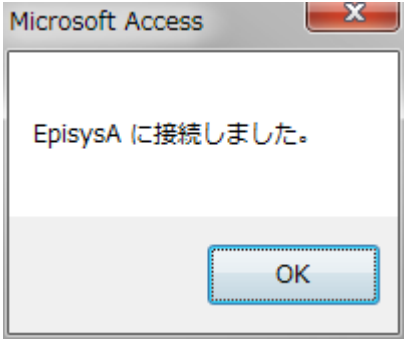
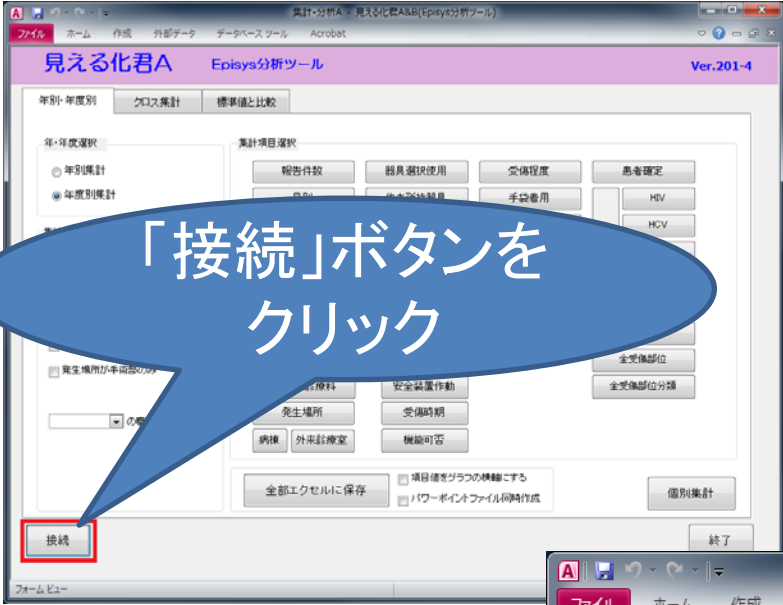


データの選択

Episys との接続が切れています。「接続」ボタンで接続してください・・・と表示される。



見える化君の基本操作 ②接続



「接続」ボタンをクリック

- ①Episys を指定
- ②そのEpisysファイルのパスワードを入力
- ③「接続」ボタンをクリックする

見える化君の基本操作 ③個別集計

集計対象項目を選んで集計する

集計条件

集計項目

クリック

個別集計

見える化君の基本操作 ④個別集計結果の例

The screenshot shows the '見える化君A' (Evisys Analysis Tool) interface. On the left, the '個別集計' (Individual Summary) option is selected in the '年・年度集計' (Year/Yearly Summary) section. A red box highlights this section. A blue arrow points from this section to the right-hand window, which displays the resulting data table.

The data table is titled '年度別 職種区分別' (Yearly Summary by Occupation Area) and shows the following data:

発生年度	計	医師*	医学生	看護師*	看護助手	看護学生	臨床検査技師	放射線技師	歯科医師
1997	17	4		12			1		
1998	21	4		15			2		
1999	10	1		8			1		
2000	17	5		12					
2001	22	6		16					
2002	35	10		17	1		2		
2003	57	15		32	2		5		
2004	116	42	3	50	1		3		
2005	117	41	1	56	5		2		
2006	118	45		56	4				
2007	123	44		66	1		5	2	
2008	129	44		72	2		4		
2009	106	40	2	51	1		6		
2010	112	42	1	56	2	1	4		

見える化君の基本操作 ⑤全部エクセルに保存

全項目を集計しエクセルファイルに保存する

見える化君A Episis分析ツール Ver.201-4

年別・年度別 クロス集計 標準値と比較

集計条件

年・年度選択

- 年別集計
- 年度別集計

集計対象期間

- 全期間

追加条件

- 患者が確定している報告のみ
- 発生場所が手術部のみ

集計項目選択

報告件数 器具選択使用 受傷程度 患者確定

月別 他者所持器具 手袋着用 HIV

年齢階級別 器具の汚染 HBs抗体 HCV

経験年数 使用目的 緊急処置時 HBs抗原

性別 事例発生状況 公労災申請 HBe抗原

所属部門別 器材名 公労災認定 梅毒

職種別 器材分類 ATLA

職種区分別 安全器材 全受傷部位

医師診療科 安全装置作動 全受傷部位分類

発生場所 受傷時期

病棟 外来診療室 機能可否

全部エクセルに保存

- 項目値をグラフの横軸にする
- パワーポイントファイル同時作成

個別集計

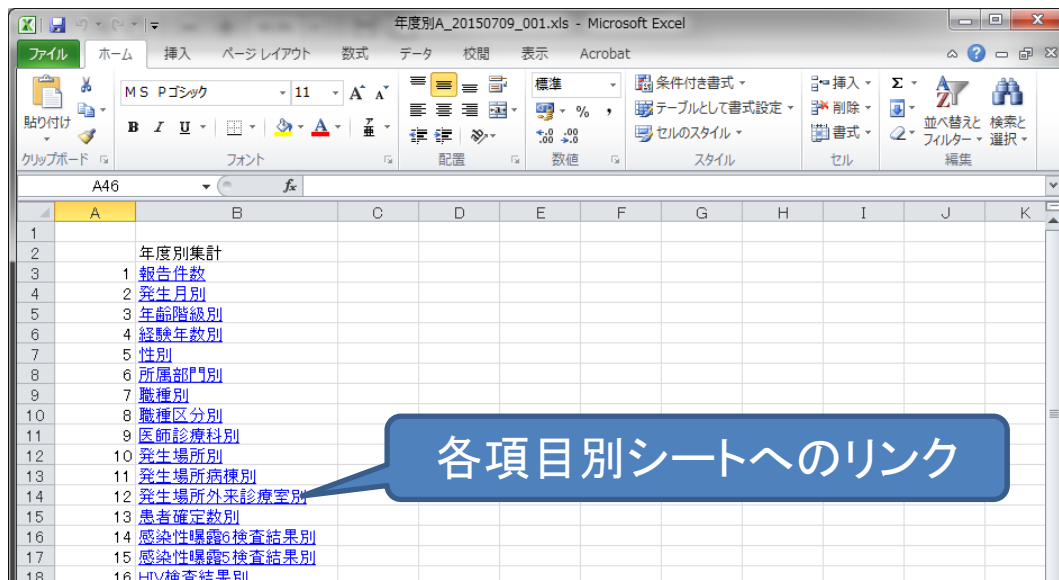
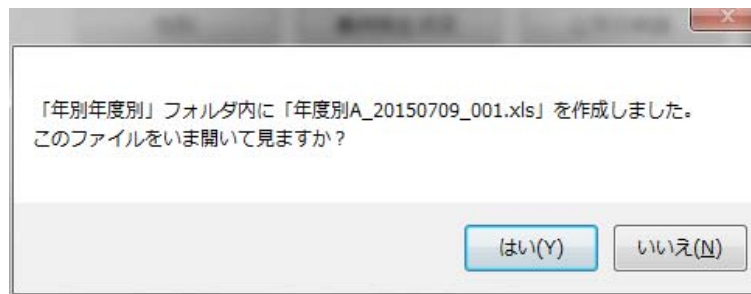
接続中 接続先ファイル: Z:\Qsync\EpisisA201_Sample1000.mdb

接続先ファイルを最後に開いた日時: 2015/05/11 22:20:59

終了

フォームビュー NumLock

見える化君の基本操作 ⑥全部エクセルに保存の結果

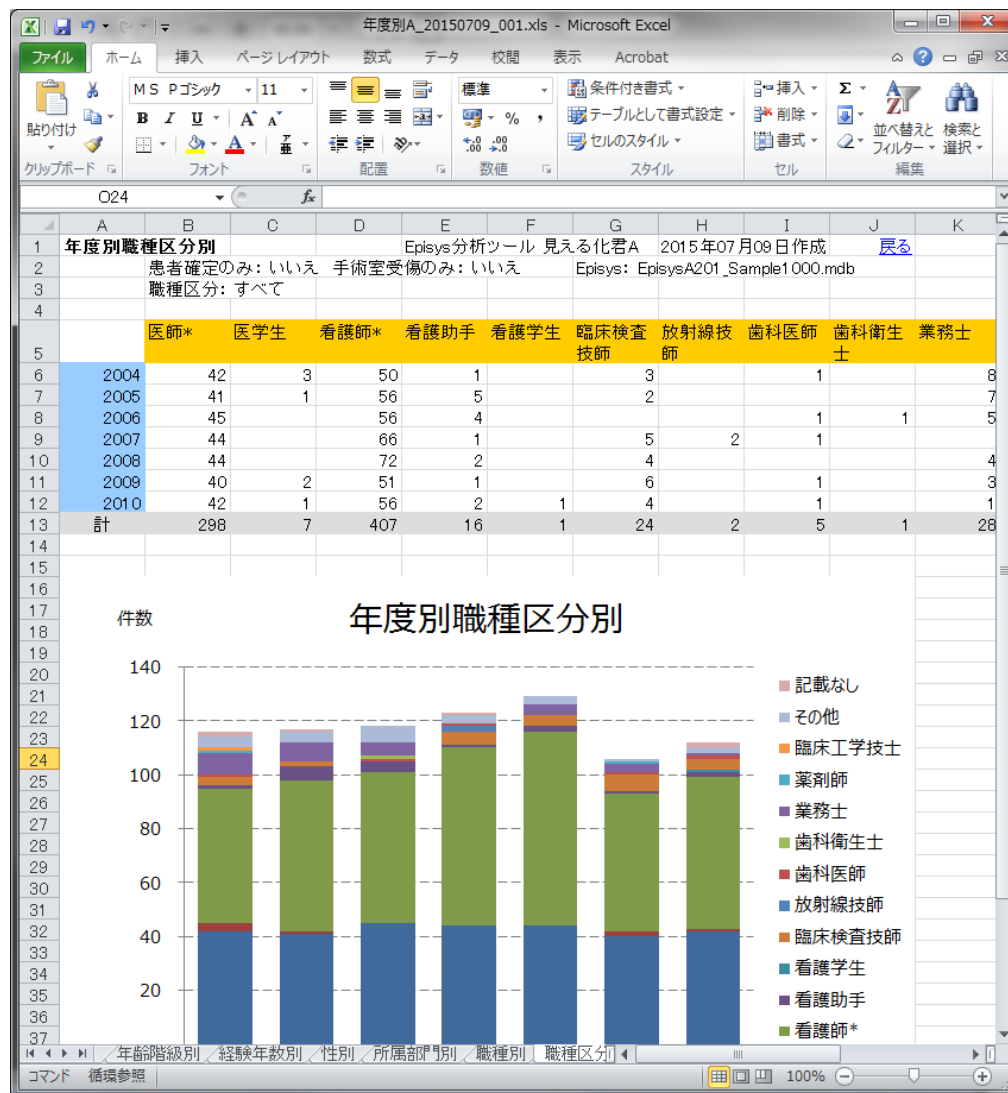


作成・保存された
集計結果のエク
セルファイルの例

見える化君の基本操作 ⑦全部エクセルに保存の結果

作成された集計結果のエクセルファイルの例

表やグラフは利用目的に応じてデザインなど適宜修正して利用する



見える化君の基本操作 ⑧クロス集計

見える化君A Episys分析ツール Ver.201-4

年別・年度別 クロス集計 標準値と比較

集計項目選択 → HCV

集計期間指定

- 年や年度で指定
- 日付で指定
- 全期間

追加条件

- 患者が確定している報告のみ
- 発生場所が手術部のみ

集計項目選択

- (なし)
- 発生月
- 曜日
- 発生時刻
- 性別
- 年齢
- 経験年数
- 所属部門
- 職種
- 職種区分
- 医師診療科
- 発生場所
- 発生場所・病種
- 発生場所・外来診療
- 患者の確定
- 入院外来
- HIV
- HCV
- HBs抗原
- HBc抗原
- 梅毒
- ATLA(HTLV-1)
- 感染性曝露の検査
- 感染性曝露の検査
- 最初の使用者
- 他者の所持器材
- 器材の汚染
- 使用目的
- 事例発生状況
- 器材名

列項目を選択

行項目を選択

クリック

個別集計

接続中 接続先ファイル: Z:\Qsync\EpisyA201_Sample1000.mdb 接続先ファイルを最後に開いた日時: 2015/05/11 22:20:59 終了

フォームビュー NumLock

見える化君の基本操作 ⑩標準値と比較

各施設の主な指標を標準値(これまでにJES等で提供されたデータから算出)と比較できる。

標準値と比較のタブ

クリック

Excelに保存

見える化君の基本操作 ⑪標準値と比較の作成例

比較結果をエクセルファイルに出力

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	標準値と比較		見える化君201-4作成	2015年07月09日				
2	病院コード:11111		Episys: 報告データA_JES2013まで_57109件.mdb					
3								
4	報告データ数							
5	発生年度	施設データ数	標準値データ数					
6	<施設データ>		<全国データ>					
7	2004	102	2575					
8	2005	117	2777					
9	2006	110	2837					
10	2007	117	3005					
11	2008	106	3325					
		84						
		94						
		94						
		91						
17	※ 年度別...数。							
18								
19								
20	安全器材事例割合							
21	発生年度	報告数	安全器材事例数	安全器材事例割合 (%)	全国報告数	全国安全器材事例数	標準安全器材事例割合 (%)	安全器材有無記載なし)
22	<施設データ>		<施設データ>	<施設データ>	<全国データ>	<全国データ>	<全国データ>	<施設データ>
23	2004		99	10.1%	2131	337	15.8%	3
24	2005		111	10.8%	2349	408	17.4%	6
25	2006		109	12.8%	2467	519	21.0%	1
26	2007		112	21.4%	2573	572	22.2%	5
27	2008		93	15.1%	2885	572	19.8%	13
28	2009		77	18.2%	2422	490	20.2%	7
29	2010		82	18.3%	2637	590	22.4%	12
30	2011		86	9.3%	2689	586	21.8%	8
31	2012		77	15.6%	2799	614	21.9%	14
	4月 - 3月	全受傷報告数(件) A02	安全器材による受傷報告数(件) B02	全報告件数に占める安全器材による受傷報告数の割合(%) B02/A02*100	全受傷報告数(件) C02	安全器材による受傷報告数(件) D02	全報告件数に占める安全器材による受傷報告数の割合(%) D02/C02*100	安全器材の有無の記載なし)受傷報告数 A01-A02
32								
33	※ 器具が安全器材であった割合。「記載なし」は母数から除外し割合を算出。							

年度

施設データ

全国データ
(標準値)

おわりに

- 詳しい使用方法の説明は「EpisysA & B301使用説明書」などを参照してください。
- Episysや見るか化君を使ってお気づきの点、お困りの事などはサポート窓口：
support@jrgoicp.org まで
- Episysの利用登録をされた方にはバージョンアップなどをメールでお知らせします。